



事業計画に基づく 資本の増強について

ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社

2003年4月25日

エクイティ・ファイナンスの実施

✎ ニチメン・日商岩井グループの総力を結集し 大規模な資本増強を実施

- “3,200億円規模”の資本増強策を決定
 - ✎ 普通株式約70億円、優先株式2,680億円、CB枠500億円
- 本日、その資本増強策の第一弾として約2,780億円を発行決議
 - ✎ 普通株式約70億円、優先株式2,660億円、CB50億円
- 大幅な財務体質の改善 (DER改善)を実現するとともに、今後の資本政策の柔軟性を確保
- 今後、残された経営課題として、統合効果の早期実現、及び事業戦略の本格展開による収益力の向上を目指す

【経営目標】 3年以内に達成

- ✎ 経常利益 : 1,000億円以上
- ✎ ネットDER : 5倍以下

エクイティ・ファイナンスの概要

種類	引受先等	金額	意義
優先株	(株)UFJ銀行	1,500億円	☞ 多数の金融機関から「事業計画」に対する評価を頂き エクイティ・ファイナンスを実現
	(株)みずほコーポレート銀行	450億円	
	(株)東京三菱銀行	350億円	☞ 「事業ポートフォリオ戦略」に必要な「財務基盤」を確立
	(株)りそな銀行	180億円	
	三菱信託銀行(株)	100億円	☞ 「事業計画」の達成と安定的な企業成長力の確保 中長期的に継続的なリターンを提供
	農林中央金庫	50億円	
	リーマン・ブラザーズ	30億円 (50億円)	☞ リーマン・ブラザーズは今回分とあわせ、合計50億円の 優先株を購入する計画
小 計		2,660億円	
CB (CB購入枠)	リーマン・ブラザーズ	50億円 (500億円)	☞ 10年間の資金調達枠 ☞ 当社の要請に基づき、機動的な資本増強・資金調達を 実現 ☞ 今回50億円分の発行を決議 (初年度は合計で100億円程度の発行を計画)
普通株	取引先企業・機関投資家等	約70億円	☞ 取引先企業とのより強固な取引関係の構築とサービス 提供の拡充 ☞ 「事業計画」に基づく収益の潜在的成長力を評価し、機関 投資家も出資
合 計		今回 最大	2,780億円 (3,250億円)

エクイティ・ファイナンス後の資本政策

追加資本増強策

- リーマン・ブラザーズとの間に設定した資本増強プログラム (リーマン・ブラザーズが総額500億円のCBを購入する契約) に基づく資金調達枠を活用し、柔軟に資本増強・資金調達を実施
- 個々のCBの発行は、株価水準等の希薄化要因を考慮した上で当社が適宜決定 (初年度合計100億円発行を計画)

配当政策

- さらなる「財務体質の強化」に向けて、「事業計画」期間中 (3年間) は内部留保の蓄積を優先
 - ☞ 優先株に出資する取引金融機関のご理解を頂き、4年目からの配当を計画
- 4年目以降、十分な配当原資をもとに積極的に利益を還元